

# 平成 28 年度 研究計画書

Research Plan FY2016

DATE : 2016/07/06

講座名・職名 Course Title・Job Title	ヨーロッパ I ・教授
氏名 Name	早稲田 みか
専門分野 Academic Field	ハンガリー語学

## 平成 28 年度 研究計画 (ホームページで公開) Research Plan FY2016 (Post on Website)

主たる研究テーマ Principal Research Subject	ハンガリー語動詞接頭辞の多義構造にみられる文法化と活性化				
研究計画 (400 字~500 字で記入すること。) Research Plan (Approximately 100 Words)					
<p>ハンガリー語の動詞接頭辞は、「上へ」「下へ」など、空間移動の方向を表す基本的 (語彙的) 意味をもつが、動詞に接続し、様々な抽象的意味や、文法化して完了アスペクト (文法的意味) を表したりする。この文法化した動詞接頭辞の用法には、完了アスペクト付与だけでは説明できない意味の差異や、微妙なニュアンスがある。こうした意味の差異は、文法化した動詞接頭辞が完全に語彙的意味を失ってはならず、本来の語彙的意味が活性化されることにより生じると仮定し、この仮説を検証し、文法化と活性化により多義性が生じるメカニズムを明らかにする。</p> <p>具体的にはハンガリー科学アカデミー言語学研究所の言語コーパスや文学テキストを利用して、動詞接頭辞 <i>meg</i> つきの動詞と接頭辞なしの動詞の用例、および、同じ基動詞に異なる動詞接頭辞 <i>meg</i> と <i>el</i> が接続している用例を、コンテキストがわかるようにかたちで収集し、分析する。</p>					
共同研究可能な分野 Research Fields feasible for joint research *1	言語学				
キーワード Keywords*2	ハンガリー語	動詞接頭辞	多義性	文法化	